

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アビリティキッズききょうだいら（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2026年3月21日 土曜日		～	2026年4月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	2026年3月21日 土曜日		～	2026年4月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月20日 月曜日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚化されたスケジュールや自席、ロッカー等に名札があり、自立に向けた支援、体制を整えている	自分の座る席、荷物を入れるロッカー、今日のスケジュールは時計のイラストを用いて時間を見る支援と一緒に、次はなにをするのか自分で確認できるような視覚化を取り入れています。またタイマー等を用いた切り替えの練習も行っています	決められたルールを守る習慣を身につけつつも自由時間等の自発的な取り組みを増やしていきたい
2	月に一回他事業所と合同で勉強会を開催しており、より専門的な支援ができるような体制を整えている	その時、その時の問題点や課題点を専門的な知識を用いた支援内容の検討であったり、職員の気付きを与えられるような勉強会を心掛けています	すべての職員が専門的な知識を平等に持てるように取り組んでいきたい。職員が勉強会内容を考え、共有できる「インプット・アウトプット」の機会をもっと増やしたい
3	親子が参加できる企画を増やしており、親子の関わりや親同士の交流等、事業所の透明性や理解を深めていただけるような企画を増やしている	学校生活とは違った、日常生活では得られないような体験を目標に遠出も含めて取り組んでいます。 職員の対応も見れたり、同じ事業所に通っている子供や親と関わりを持つことにより、相談できる相手を増やしていく取り組みを行う	企画や外出先など、親子から希望を聞き、実現できるような工夫をしていく。特性上、周囲に迷惑をかけるからといけない場所がそれぞれあるため、職員のフォローを通じて実現していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースに限りがあり、部屋数が少ないため、クールダウンする専用の部屋がない。	クールダウンが必要な際には、周囲が気になってしまいなかなかクールダウンできない。また、高学年になると運動を取り入れた集団でのゲームは狭さを感じることもある。	気分転換に外に連れ出す等の工夫が必要で。運動面では、天気の良い日には近隣の公園に出かけています
2	保護者へのペアレントトレーニングを活発に行えていない	保護者のニーズをしっかりと聞き取り必要な情報を提供する必要があった。 個別では、困りごとに対し解決できる様支援していますが保護者の方全体に行える機会を設ける必要があった。	ご家庭で抱える困り事をしっかりと聞き取り、どのようなペアレントトレーニングが必要か把握し機会を作っています。
3	緊急対応マニュアル等の保護者への周知が充分ではない	保護者一人ひとりにマニュアル等についての伝達が行き渡っていない為、十分に周知されていないと思われる。	今後も訓練を重ねると共に、保護者の方には面談時にお伝えし周知をしっかりと行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アビリティキッズききょうだいら（放課後等デイサービス）				公表日	令和 8 年 4 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	レクに応じて、空間を確保できる配置をしている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用日の状態により職員の人数を調整されている	資格保有者を増員できるように採用を強化していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	毎朝、ミーティングを行なっています。	活動の時間や活動内容等、その日の予定やスケジュールをホワイトボードに掲示してあります。視覚的な支援ができるよう心がけています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	食事、おやつ前後に拭掃など	空調設備が事業所側で調整できず、大家さんに依頼しなければならない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個室があり、ゆっくり過ごせる空間作りをしています。	クールダウンするときに相談室を使用しております。クールダウンしなくてもいい環境を整えていく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	半期に一度、目標、振り返りの書類の作成を全職員やっています	モニタリングや支援者会議の他に毎日パート職員も交えて申し送りして情報共有しております	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	全スタッフで共有し、改善できるよう努めています	今後も情報共有を続けていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	開始前に職員全員で話し合いが行われている	今後も情報共有を続けていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		情報収集し今後の実施に向けて検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月、研修会議を行なっています。	強度行動障害等の社外研修にも積極的に参加できるようにしております	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		ホームページ等にプログラム掲載してある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者様とお話しし、それに基づき作成しています	もう少し細かな変化をキャッチし、反映していきたい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	全スタッフが同じ方向で支援できるよう、支援計画をみんなで確認しています	課題を日々確認しながら支援に反映できるようにしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	毎日のミーティングで共有している、変化があった場合、策を皆で考える	問題なくできている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		標準化されたツールの使用はなく、各スタッフの裁量によるところが大きい	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	お子様の特徴に合わせた支援を取り入れています。	個別支援計画書にしっかりと記載されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	子どもの状況に合わせてグループ分けをして取り組む	個別の課題から全体の課題へと昇華させ、支援プログラムを検討している。参加できない等の別れてしまった時の課題は少し残る	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	常に活動プログラムをどのような内容にするか研鑽している	ジャンル分けをした上で、細かな内容を子分類して大枠から外れないようにしながら、細かな内容で変化させている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		状況に応じて組み合わせを調整できている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	役割分担をし、偏りがでないようにしています。	ミーティングを継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	その日の出来事は、必ず報告している。	支援の振り返りとともに日報にも記入し、休みのスタッフも後日共有できるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	個別で支援内容、お子様の様子を毎日記録しています。	ミーティング内容を元に活動内容へ盛り込み、スモールステップを意識している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		半年に一回の見直しを中心としているが、変化に応じて細かくできるように改善していきたい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		地域交流ができていないが、概ね行えている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	題材を子どもたちに提供して、中心となる人を決めて子供達だけで決めれるようにしている	自発的な意見を出せるような支援を心掛けている
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		できている。誰でも参加できる状況を作れていない為、全員が同じ発言ができるようにしていきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	学校とは連携をとり、お子様の様子など共有頂いております	関係機関との体制は整えているものの、密な機関とそうでない機関と別れているのが現状である。改善できるように検討していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校側からも予定表を頂き、確認させて頂いております。	緊急性の高い内容については共有することがあるものの、定期的な情報共有は送迎時のその日の状況等に限られる。一人ひとり支援者会議の時間が作れるように検討していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		その時に通っている学校とのやり取りが多く、就学前に利用していた教育機関との関係は卒業と同時になくなってしまっている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	相談員様を通し、こちらでの情報内容はお渡ししています。	その状況になった場合は情報共有できるような体制を整えてある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		機会を設けていなかった。 地域連携とあわせて検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	運動会を年一度開催、小学校体育館を借り、教頭先生やトワイライトの先生にもお伝えしている	情報収集し今後の連携に向け検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		管理者・児発管は参加している。 職員も研修等あれば参加を促してる
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		連絡帳や個別支援計画等定期的な報告はしているが、授業参観のような直接見れる環境を設けていきたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		数か月に一回といった短い期間でのペアトレ開催を目指していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		今後も継続した対応を心掛けていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		今後も継続した対応を心掛けていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		今後も継続した対応を心掛けていく

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談などあった場合は、面談時間を設けています。	気軽に連絡を取り合えるような関係性を築いていけるように尽力していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会で保護者様から色々な意見を頂き、活動プログラムなどを考えている。家族参加での運動会、遠足などのイベントをしています。	今後兄弟姉妹の交流が出来る場もできるような検討している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		苦情記録等をしっかりと残し共有している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		今後も継続した対応を心掛けていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		研修を合わせて留意継続していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		システム導入による連絡帳のアプリ化等で情報の伝達に配慮している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	運動会など参加して頂けるようご案内などしています。	情報収集し今後の連携に向け検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		家族への周知はできていなかった。周知するように共有していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月、避難訓練等行なっています。	毎月一回災害に備えた訓練を行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	その都度、保護者様に確認しています。	より細かく確認できるようにアセスメントの書式等を変更して対応していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		保護者からのアレルギーの有無の確認と共に、細かく食べれないものを確認、提供しないように徹底している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		環境整備をしっかりとおこなっている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		今後に向けて周知を徹底していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		ヒヤリハットの作成及び共有、ミーティング時の報告を徹底している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定例会議、研修を行なっています。	運営委員会の設置と研修により適切化している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		運営委員会の設置と研修により共有している。必要な場合は記載するようにしている	